拝啓　今年も早や5月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。先日、散歩の会の友人とともに、大船のフラワーセンターに行きました。まず、大きなスイレン池があり、スイレンがきれいに沢山咲いていました。スイレンを見ると、いつも源信の横川法語の一節（濁りにしまぬ蓮の如くにて）を思い出します。次に見たバラ園も実にきれいで華やかでした。シャクヤク畑も少し時期を過ぎていましたが、大きな花が咲いていました。

今回は、小西芳之助先生の『コリント人への第一の手紙講解説教』からの引用の12回目ですが、今回のエンカウンターの3ページ、「復活の事実」という項目には、次のように書かれています。

「第1、復活は事実であること。
これを信じないことは事実に反していると言う。コリント前書の第15章の最初に、パウロは復活を見た6つの事実をあげました。最初にケパ（ペテロ）、次に、12弟子、500人以上の弟子、ヤコブ（イエスの兄弟で、エルサレム教団の指導者）すべての使徒、そして最後に自分パウロをあげました。これらの事実に反するではないかと言っています。」

パウロが復活のイエスに会った記事は使徒行伝に何度も出て来ますから、パウロはその通りの経験をされたのだと思います。またモーク先生が戦争中、収容所で復活のイエスに出会った記事も有名です。これらによると、復活のイエスは短い時間その人に現れるようです。それよりも、イエスの時代から2000年経った現在、世界中で聖書が読まれ、日曜日には礼拝が行われ、復活節やクリスマスが祝われること自体が、イエスは復活して今も生きておられることを証していると思います。その復活したイエスの霊が体の中に入って来て、助けて下さるわけですから、私達も復活することになると思います。

この一月に読んだ『一日一生』等の本から、感銘を受けた言葉を紹介します。

小西芳之助先生『主の御名を呼ぶ』5月1日

「ロマ書は何を教うるか
我らはこの2年間、ロマ書を勉強してきた。そして、それは「信仰」と「望み」と「愛」とを教えるものであることを学んだ。

パウロは、[ロマ書の]主な部分を次の言葉で結んだ。即ち、「どうか、望みの神が、信仰から来るあらゆる喜びと平安とを、あなた方に満たし、聖霊の力によって、あなたがたを、望みにあふれさせて下さるように」（ロマ書15章13節）と。即ち、パウロは、結局、我らが望みにあふれんことを望んでいるのである。

そして、この三つ、信仰と望みと愛との結局は、「主の御名を呼ぶこと」である。（ロマ書10章8－13節）」

新渡戸稲造先生『一日一言』4月24日

「天の使いは人目の見えぬ所に潜みて助け、人耳に聞こえぬ声して導くものか。始終我が傍にいるらしい。彼らの守護がなかったなら、今まで幾度転び、幾度倒れ、火災、水難数

知れぬ禍いはこの身を亡ぼしたであろう。我に対して厚意を有し、我を守り、我が安全を祈る者は、我こそその在処も姓名も知らざれ、必ず、広き世界にはある也。」

松下幸之助先生『道をひらく』「花のように」

「むつかしいことかもしれないが、自分の仕事に誇りを持ち、自分の働きに意義を感じるならば、我が身の処し方もおのずからに見いだされてくるであろう。

どんな世の中になっても、あわてず、うろたえず、淡々として社会への奉仕を心掛けてゆこう。その姿自体が、人びとにとってすでに大きな励ましとなり、憩いとなるのである。花のように。泉のように。そこにわれわれの喜びもある。」

内村鑑三先生『一日一生』5 月 10 日

「聖霊は神が人類に給う最大の賜物である。しかし賜物であるからというて物ではない。触れ、量り、分析することのできるものではない。霊は気である、勇気である、正気である、道徳的感化力である。聖霊を御霊と読んで、瑤玉のさらに聖化したるものであるかのように解するのは大いなる誤りである。聖霊は霊である。ゆえに気である。精神である、生命である、心である、情けである。ゆえに道徳的感化力として我らに臨み、その中に愛を生じ、信仰を興すものである。聖霊に鳩の形もなければ、焔の熱もない。我らはただこれを我らの霊の力、光、生（いのち）として感ずるまでである。」

バークレー先生『一日一章』5 月 2 日

「毎日神の言葉を聞かねばならぬ。
毎日神に語らねばならぬ。
神を思いまた覚えねばならぬ。

危機や緊急の時だけ神を呼べばいいと考えている人も多い。そういう考えの人たちに対しても、教会と神は失望を与えることはしないだろう。

毎日神と歩いていれば、暗黒の日に神を見出すことがずっとやさしくなる。また毎日神に語り神に聞き、毎週彼を思い彼を覚えているなら、苦難の日に神を呼ぶこともずっと優しくなる。」

カウマン先生『日の出に向かって』4 月 25 日

「わたしたちがこの世にささげることのできるもののうち、神の像の刻印を受けた人格以上に素晴らしいものは他にありません。即ち、神が私たちの内に住んで下さり、神が私たちを通してご自身をあらわして下さる者となることです。」

新型コロナが引き続き流行しています。感染に注意を払い、マスク、手洗い、うがいなどはこれまで同様実行されて、十分ご注意下さるようお祈り申し上げます。

5 月 25 日　　山口周三

エンカウンターの読者各位